



矢川だより

特集

ものの市 in 滝乃川学園



No.132

2023.12.Winter



矢川 の ひと



滝乃川学園保護者会 会長
高樋 浩史 (たかとい・ひろし)

2023年7月から滝乃川学園保護者会会長に就任。武蔵野市出身。滝乃川学園に入所している姉がいる。幼い頃に滝乃川学園の敷地内の野原を走り回って遊んだ思い出がある。本業では40年以上建築業界に携わり、現在はユニットバスなど建築設備の設計を手がける。趣味はラグビー。

ゆるやかに開かれた 保護者たちのつながり

滝乃川学園に「保護者会」があることを知らないという保護者の方も増えてきました。保護者会は、毎月一回（1月と12月を除く）、第2日曜日の午後1時半から、正門を入れてすぐの「生活介護棟」の一階で行われています。保護者会の活動報告や予定、学園からの最近の出来事や連絡事項などの情報を共有し合う集まりです。

私には3つ上の姉がいて、滝乃川学園に長くお世話になっていきます。もともと父親が保護者会の役員をしていましたが、16年前に亡くなり、私が受け継ぎました。姉が入園した頃の滝乃川学園には児童部しかありませんでしたが、その後、児童から成人、高齢者と、幅広い障害児者の受け皿が増えました。当時幼少だった姉は、60年以上こちらでお世話になっており、本当に感謝しています。学園に巡り会えたことは私たち家族の幸運だと思っています。

保護者会は、いろんな事情のある保護者が集まって、ゆるやかにつながれる場所です。何か特定の目的を持って頑張る場所とは思っていません。これからも幅広い保護者の方に開かれた保護者会であり続けていきたいですね。まだ参加したことがない保護者の方も、ぜひ気軽に参加してみてください。

「滝乃川学園は心地いいね」
そう言って笑い合う人々を
木漏れ日と、草木のさざめきが
包み込んでいきます

閉じた安全な世界ではなく
より多くのふれあいの中で
利用者さんが過ごせるように
門戸を開いた学園で

今日は「ものの市」が開催されました

滝乃川学園からのお便り

「矢川だより」

今号は、学園と利用者さんを取りまく
人々の姿をお届けします



滝乃川ガーデン



仮装した「あんこ」も大活躍！



記念館2階は「こどものひろば」に



礼拝堂でのバグパイプ演奏



礼拝堂前に素敵なお店がずらり



キッチンカーの出店も



ものの市特別仕様の正門



雑貨やお菓子の並ぶ「ものづくりのわ」

特集

ものの市 in 滝乃川学園

2023年10月28日、障害のある作り手たちの作品を販売するマルシェ「ものづくりのわ」の拡大版として、多様性がテーマのイベント「ものの市」が、滝乃川学園の敷地内で開催されました。創始者、石井亮一・筆子夫妻の「障害のある人々が、閉じた安全な場所ではなく、地域に開かれた場所で過ごせるように」という思いから、まちへ門戸を開き続けてきた滝乃川学園。その思いを具現化するかのように、利用者さんと地域の人々がともに楽しんだ一日の様子をお届けします！

綺麗な秋晴れの中
「ものの市」スタート！

民族楽器、バグパイプの演奏者によるオープニングセレモニーとともにスタートした「ものの市」。ガーデン広場ではJR中央線コミュニティデザイン協力による「ものづくりのわ」が行われ、障害のある作り手の多彩な作品の中から、一期一会のお気に入りを探す人々で賑わいました。

記念館前の広場にはデザートや軽食などのキッチンカーが並び、国立音大付属中学・高等部合唱団の演奏や、国立三中合唱団の合唱、滝乃川学園職員によるバンドのライブ演奏も。

記念館2階では地域団体「まちのこ」プロデュースによる「こどものひろば」が開かれ、子どもたちはワークショップや遊びに夢中になって参加しました。

年齢、性別、障害の有無などさまざまな垣根を超えた人々で、園内はずっと賑わっていました。

あおいとり保育園の園長先生に聞く

矢川あたりの 鳥たち 虫たち

滝乃川学園のご近所、「国立あおいとり保育園」の園長・佐伯元行さんは、幼い頃から生き物博士！ そんな佐伯園長に、滝乃川学園界隈でその季節に見られる鳥や虫を教えてください。

その6
ムラサキシジミ
と
ムラサキツバメ



ムラサキシジミのメス



ムラサキツバメのメス



ムラサキツバメの集団越冬



ムラサキツバメのオス



ムラサキツバメ幼虫から
汁をもらうアミメアリ

写真・文：佐伯元行

ムラサキシジミは矢川やハケの周りの常緑樹の葉の上でよく見かけ、ムラサキツバメは学園の西側街路樹のマテバシイで発生しています。この蝶は南方系で以前いなかったのですが、15年程前から市内下水道公園周囲で発生し、集団越冬も見られています。この2種のチョウは、初冬の頃になると日光浴で羽を開くので見やすくなります。



シュウメイギクが見頃に



ハロウィンやクリスマスの飾りワークショップ



滝乃川学園にも秋がやってきました



素敵な飾りができました



滝乃川ガーデンプロジェクトの紹介



親子で飾りづくりにチャレンジ

秋の滝乃川学園ガーデンを楽しむ企画も！

月一回の公開お手入れ活動を行っている「滝乃川学園ガーデンプロジェクト」のブースでは、ガーデンや参加者が企画したワークショップを開催。松ぼっくりで作るクリスマスツリー、木の幹で作るサンタこけし作りや、ガーデンで見頃を迎えるシュウメイギクやバラの実、藍の花などを使ったリース作りなどに参加者みんなで取り組みました。

毎月の公開お手入れの日には、ガーデンによるミニ講座も行われます。さまざまな種類がある松ぼっくりの見分け方や、冬の枯れた花を楽しむ方法など、季節に合わせた植物の楽しみ方が広がりますよ。

YouTubeチャンネル「東京都地域公益活動推進協議会」で、滝乃川学園ガーデンの取り組みを紹介いただきました。そちらもぜひご覧ください！

滝乃川学園では一緒に働いてくれる仲間を大募集しています。

知的障害者グループホーム

募集職種：夜勤アルバイト・調理パート

知的障害者グループホームは平日の日中はお仕事や通所事業所に通われている皆さんの帰寮後や休日の食事づくりや清掃補助、生活上の相談などの日常生活の支援を主に行います。

勤務地 国立市内・立川市内
資格不問・学生・主婦の方大歓迎

夜勤アルバイト

勤務時間 15:00～翌10:00
15:30～翌10:30
(休憩5時間) ※仮眠あり

給与 1夜勤 20,558円
(ベースアップ加算手当・夜勤手当含む)

調理パート

勤務時間 14:00～18:00
15:00～19:00 (4時間)
時給 1,147円
(ベースアップ加算手当含む)

認知症対応型グループホーム「やがわ荘」

募集職種：介護職員(有期)

高齢の利用者様の食事作りやお食事の介助。入浴介助や通院同行などの日常生活支援。また季節ごとのイベントや外出など、利用者の皆さんが楽しく余暇を過ごせるようお手伝いします。

シフト勤務制(早番・日勤・遅番・夜勤)
時給 1,147円
(ベースアップ加算手当含む)
夜勤の場合 20,558円～
(ベースアップ加算手当・夜勤手当含む)

看護師(正規職員)

知的障害のある利用者の皆さんの日々の健康管理、配薬管理、経管栄養等の医療ケア、通勤付き添い、医師の指示による看護業務全般を行っていただきます。

幼児から高齢の方まで幅広い年齢の利用者の皆さんの対応をしていただきます。

勤務時間 8:00～17:00
8:30～17:30
9:00～18:00等
※早番・日勤のみ(夜勤なし)

基本給 257,300円～
※モデル経験年数15年想定
コミディカル手当 40,000円
賞与 年2回 4.1カ月(前年度実績)

生活支援員

(正規職員・有期契約職員)

知的障害のある利用者の皆さんの食事、入浴、排せつ介助。また通院同行や外出同行など利用者の皆さんの日常生活に寄り添いサポートしていただきます。

シフト勤務制(早番・日勤・遅番・夜勤)
正規職員
給与 基本給190,100円～ ※大卒
(大卒の場合初任加給16,000円有り)
賞与 年2回 4.1カ月(前年度実績)

有期契約職員

時給 1,147円
(ベースアップ加算手当含む)

理学療法士(正規職員)

知的障害のある利用者の皆さんの身体面のサポートや運動指導。リハビリ計画の策定、補装具のメンテナンス、支援スタッフへの助言などを行っていただきます。

勤務時間 8:00～17:00
9:00～18:00
(実働8時間)

基本給 225,691円～
※モデル経験年数3年想定
コミディカル手当 20,000円
賞与 年2回 4.1カ月(前年度実績)

自分らしい
滝乃川学園との関わり方を
見つけませんか？



「ものの市」の日、ガーデン広場では滝乃川学園の採用ブースが開かれ、広報誌やパンフレットの配布、希望者には職員による説明が行われました。「ものの市」をきっかけに滝乃川学園を知った人、ご近所の方から遠方の方まで、多くの人に足を運んでいただきました！

「採用」というと大きな一歩に聞こえますが、まずは職員に話を聞いてみることで「自分らしい関わり方」が見えてくる可能性があります。この日は採用ブースに気軽に立ち寄り、話を聞いてから見学に進まれたり、実際に応募に進まれる方もおられました。ご自身のスキルを活かせる職種、特定の職種に応募したいという方だけでなく、ボランティアとしての関わり方に興味を持つ方も。福祉職の経験者もいれば、全く初めてという方も、ブースを訪れて自分らしい滝乃川学園への関わり方を見つけていきました。利用者さんがその人らしく地域で過ごしていくためには、関わる人の協力が欠かせません。児童から高齢者までの多様な利用者さんと関わりながら、自分に合ったキャリアプランを見つけませんか？

「ものの市」の採用ブース出展
滝乃川学園ではたらく

インタビュー
by
国立人

福祉の経験がなくてもOK！無資格OK！
新人研修やOJTにより安心して働けます。
育休取得率 女性100%・男性80%
(前年度実績) / 介護休暇あり
仕事と育児・介護の両立も叶う職場です。
経験者優遇します。

2025(令和7)年には
新宿区に新事業所開設予定！！

矢川のまちめぐり

自然と農、歴史と文化、人々の暮らしがゆるやかに流れる矢川エリアを中心に、国立のまちをめぐりたくなるスポットを紹介します。

今回のテーマ

地元民が
オススメする
矢川

矢川弁財天

西国立駅から徒歩10分、踏切を渡って「みのわ通り」の坂を下っていくと、右手の崖下に大きな池のある神社が見えてきます。この「矢川弁財天」には矢川の源流の一つがあり、狛犬ではなく狛蛇こまへびがいる、日本でも珍しい神社です。敷地内の「龍神之池」には色とりどりの鯉が棲み、地元の人にとって坂を登り下りする時に鯉の様子を眺めるのが楽しみになっています。

◆立川市羽衣町3・29・27



矢川

矢川弁財天付近や矢川緑地保全地域を源流とする湧水が流れる、約1・5km続く穏やかな川です。住宅地や小学校、農地などを緩やかに蛇行しながら進み、滝乃川学園の園内の中央を南北に流れ、府中用水と合流します。矢川に沿って歩いてみると、この地域の暮らしとリンクした川であることが実感できます。

◆立川市羽衣町から



矢川いこいの広場

国立第六小学校に面して設けられた大きな木のある小さな公園です。東側にある階段を下りていくと、南北に流れる矢川に入ることができ、夏場にはたくさんの子どもたちが川遊びをしている様子が見られます。源流から滝乃川学園まで続く矢川の間地点にあり、小休憩にもぴったりです。

◆国立市青柳1・20・5



矢川上公園

矢川駅から徒歩5分の、大きな噴水のある公園です。遊具で遊ぶ子どもや、ベンチでのんびり過ごす親子連れ、テニスコートや健康器具のある広場でスポーツを楽しむ人など、幅広い年齢層の人が訪れます。1月はどんど焼き、8月は盆踊りが行われるなど、地元の人思い出がたたくさん詰まった公園です。

◆国立市富士見台4・2・4



矢川の まちめぐり

-地元民がオススメする矢川-

MAP



Check!



矢川弁財天

神社には、狛犬がいることが多いですが、こちらには鳥居の横に「狛蛇」がいます！



青柳大通りから矢川弁財天の全景が見えます



遊歩道が整備された矢川沿いの道

立川公園

至誠学園



矢川緑地保全地域では季節ごとの表情が楽しめます

Check!



矢川いこいの広場

矢川に沿ってベンチが並んでおり、川の流れを眺めながら小休憩できます。

Check!



矢川

農地や住宅地の中を流れるこのあたりの矢川からは、空がとても広く見えます。

滝乃川学園のオススメ散歩ルート

文 東京女子体育大学

第二中 文

スーパー

矢川メルカード商店街

矢川プラス

JR 南武線

矢川駅

文 第六小

あゆみ保育園

滝乃川学園

南養寺

くにたち郷土文化館

あおいとろ保育園

富士見台第二団地

谷保第三公園

文 第五小

国立市役所

甲州街道を抜けて滝乃川学園まで矢川が続いています

谷保天満宮

滝乃川学園内の滝乃川ガーデンにもぜひお立ち寄りください

城山公園

ヤクルト中央研究所



①アメリカのキリスト教関係誌に掲載された孤女学院生徒の集合写真 ②孤児学院校舎



③静修女学校校舎 ④静修女学校生徒教員集合写真（最後列左から3人目が筆子）



その6 亮一と筆子の出会い

筆子は、上京、就学、ヨーロッパ留学、結婚、華族女学校勤務、出産と慌ただしい10代から20代を送っていた。そのような中、1892（明治25）年、夫の小鹿島果が病気で亡くなる。筆子は、障害のある娘たちを抱えながらも、自分の使命として様々な活動を続けていく。華族女学校教師、華族女学校付属幼稚園主事の他に、女性の社会活動や、女子の就学活動を支援するための「大日本婦人教育会」の理事、ミッシヨンスクール「静修女学校」校長と、女性教育家として多忙を極め、時代の先頭に立っていた。

亮一と筆子の出会いがいつなのか、はっきりとしたことは判らないが、同時期に日本聖公会の信徒となっている。（筆子は1886（明治19）年、亮一は1887（明治20）年に洗礼を受ける）また、筆子は亮一の師である立教大学創立者ウィリアムス師から洗礼を受けていること、亮一が

大学卒業後、筆子と関係の深い立教女学校の教頭に就任したこと等考えると、明治20年代の初頭には面識があったのではないかと考えられる。判明している当時の記録から二人の接点を調べてみると、1893（明治26）年8月ミッシヨン系の女学校が集まり、フェリス女学院で開催された「第1回女子夏期学校」に筆子は講師として参加するが、そこに亮一の孤女学院から女学生2名が参加している（※1）。翌年の1894（明治27）年には、亮一の「孤女学院」を支援するための慈善市（バザー）の発起人に筆子が名を列ね（※2）、また、1895（明治28）年に筆子が校長を勤める「静修女学校」に、講師として亮一を招聘している（※3）。

すでに孤女学院にて知的障害児教育に取り組んでいた亮一は、障害児を抱えていた筆子への支援を始める。自宅で娘たちの療育をしていた筆子のもとに保母を斡旋し（※3）、一時的に娘を孤女学院で預かっている（※4）その後の「滝乃川学園」において協働する下地がこの頃に培われたと思われる。

※1：1893（明治26）年9月16日発行『女学雑誌』第353号 ※2：1895（明治28）年12月25日発行『女学雑誌』405号

※3：石井亮一伝稿 ※4：滝乃川学園有志寄付簿

12月はじまりのカレンダー

チャプレン 高瀬祐二

今回は教会のカレンダーについて書かせていただきます。

教会のカレンダーでは、巷のカレンダーとは異なり12月の最初の日曜日が元旦になります。今年は12月3日がその日にあたり、降臨節（アドベント）が始まります。クリスマス（イエス・キリストの誕生）の準備の時間がカレンダーの最初になり、この日から4週後の25日が降誕日（イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス）となります。今年は24日、日曜日が降臨節第4主日と降誕日前日（クリスマスイブ）となり、25日降誕日は月曜日になります。クリスマスイブが日曜日になるのでクリスマスのお祝いをするには良い日程です。

伝統的な教会（カトリックやプロテスタントの一部等）の多くは、降臨節（アドベント）にはお祝いの事を行わない（例えば結婚式等）という習慣があり

ます。イエス・キリストの誕生を祝うクリスマスなので、祝い事を行うにはふさわしいように思いますが、なぜでしょう？ それは聖書の記述に由来します。聖書によればイエスの父ヨハネ、母マリヤは、人口登録のため、生まれ故郷への旅の途中、宿に泊まれなかつたために馬小屋でイエスを出産しました。まさに非常事態での出産と言えるでしょう。また、聖書の他の個所には、新たな指導者の誕生を恐れた為政者が、イエスと同年代のたくさんの子供を殺した、と記されています。イエスの誕生に思いをはせると、さあお祝いだ！というわけにはいかない理由をお判りいただけたでしょうか。

クリスマスは12月25日に固定された祝日ですが、キリスト教にとってクリスマスとならぶ祝日・復活祭（イースター）は毎年移動し、移動祝日と言われています。復活祭は「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」と決められているので、来年は3月31日になります。日本ではイースターはクリスマスほど盛り上がりませんが、キリスト教にとっては大事な祝日となっています。

日本聖公会と滝乃川学園

創立者の石井亮一は、立教大学在学中にキリスト教と出会いました。日本聖公会の祖であり、立教大学の創始者であるウイリアムス主教より教えを受け、信徒となり、夫人の筆子も同主教の下で信徒となりました。敬虔な信徒であった夫妻は、学園の中心に教会を建て、日曜日の礼拝のみならず、日課の最初は朝のお祈りで始まり、夕のお祈りで閉じていました。

設立当初から、日本聖公会からの多大なるご支援をいた

だいており、学園の130年にわたる歴史は、日本聖公会と共にありました。



チャプレン

チャプレンは、教会以外の学校や病院や社会福祉施設と礼拝堂（チャペル）で働く牧師のことです。滝乃川学園では昨年度より、常務理事でもある高瀬祐二が就任しています。



ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。私たち滝乃川学園は、障害を持つ人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

三井住友銀行

銀行名：三井住友銀行国立支店
口座番号：普通預金 0921148
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

三菱UFJ銀行

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店
口座番号：普通預金 0002309
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

130周年記念寄付について

重度の方でもいきいきと活動できる場所を目指し、「新作業棟建設プロジェクト」を企画準備中です。現在、インターネット寄附の導入も検討しております。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

感謝録
寄附者
ご紹介

ホームページにて、令和5年7月1日から10月31日までに寄附をいただきました皆様をご紹介させていただきます。

インフォメーションボード

2023年
12月

滝乃川学園ボランティア募集！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）などのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。イベントボランティアは、随時ホームページにて情報を掲載していきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当

【電話】042-573-3950（9時～17時）

滝乃川学園ガーデンプロジェクト

学園の中にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、内外の人がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。まずは気軽にガーデンの見学にいらしてください。お待ちしております！

【日時】「滝乃川学園ガーデンプロジェクト」のフェイスブック（公式ページ）で最新の日程をお知らせしていますので、ご確認ください。

【場所】聖三一礼拝堂前コミュニティガーデン

【服装】汚れてもよい服装、靴

ガーデンプロジェクト担当 糸永（法人本部）

【電話】042-573-3950（9時～17時）

ファミリーソーシャルワーカー （家庭支援専門相談員）って何？

お話を聞いた人 ファミリーソーシャルワーカー Aさん

ファミリーソーシャルワーカーについて

滝乃川学園でのファミリーソーシャルワーカーの役割は、障害のある子どもが、障害児施設に入所する際や、退所して地域へ移行する際に、その方の意向に沿った相談業務を行いながら、ご家庭や地域の支援施設と連携していく仕事です。

施設に入所してくる児童は、様々な事情を抱えており、ご本人が望んで入所してくる方は一人もいません。そのため、少しでも不安がないように、ご本人の状況を支援スタッフに伝えるために、関係者会議を開いて情報を共有します。

児童は就学が終わると、地域での生活に移行していきます。その際、相談業務を継続して行いながら、他機関との連絡・調整、地域へ移行した後のイメージができる取り組みやアフターケアなどを行います。

Q.障害のある子どもが大人になっていくまでに、必要としている支援とは？

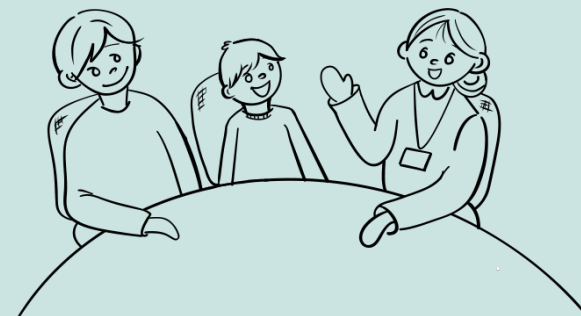
ご本人の自己実現を目指すための支援です。

ファミリーソーシャルワーカーの役割には、その方の望む暮らしに必要なサービスや人材、インフォーマルな支援、コミュニティ資源の掘り起こしなどがあります。滝乃川学園では、児童発達支援管理責任者や支援スタッフと協力して行っています。

Q.仕事で大切にしていることは？

障害のある子どもの意向や特性を把握して、適切な取り組みを進めていくためには、子どもや保護者との信頼関係、利用者に身近な支援スタッフとの連携が不可欠です。

この仕事をして感じることは、ご本人やご家族の気持ちや願いを叶える制度や資源、人材の確保が圧倒的に不足しているということです。ソーシャルワーカーとして困難な壁を切り開くため、知恵を駆使して関係者に協力を求め、できる限り利用者に寄り添い、自己実現につながる支援をしていきたいと思っています。



矢川だより

No.132

矢川だより 第132号
2023年12月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園
制作 矢川だより編集会議
合同会社三画舎



〒186-0015
東京都国立市矢川三丁目16番地の1
電話 042-573-3950 (代表)
メール soumu@takinogawagakuen.jp
HP <https://www.takinogawagakuen.jp/>

